

「かわまちづくり」計画が新たに2箇所登録されました

～ 平成25年度第1回 地域と連携した川づくりに係る計画の登録 ～

平成25年11月12日付けで「かわまちづくり」支援制度に係る計画について、東北地方整備局管内では新たに2箇所が登録となりました。この登録と合わせて、1箇所の計画変更が行われています。

登録箇所では、治水上及び河川利用上の安全・安心な河川管理施設の整備等の「ハード支援」や、河川敷をイベント広場等に利用できる制度の活用等の「ソフト支援」を受けることができ、地域の良好かつ安全な水辺空間の形成や地域交流の活性化が期待されます。

国土交通省水管理・国土保全局では、まちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ることを目的に、河川が有する地域の資源（景観・歴史等）や地域の創意（知恵）を活かし、官民連携の下で立案された実現性の高い水辺の整備・利活用計画（「かわまちづくり」計画）について、「かわまちづくり」支援制度への登録を行っています。

登録・変更された箇所の計画概要は別紙のとおりです。

新規 秋田県大館市：根下戸地区かわまちづくり（直轄）（米代川）

山形県三川町：三川町かわまちづくり（直轄）（赤川）

変更 岩手県盛岡市：盛岡地区かわまちづくり（直轄）（北上川・中津川）

なお、本件については、国土交通本省においても記者発表しています。

<http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/index.html>

< 発表記者会：能代市記者クラブ、大館市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、
秋田県内建設専門紙、鶴岡記者会、酒田記者クラブ、岩手県政記者クラブ、
宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会 >

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 河川部

022 - 225 - 2171

河川環境課長 高橋 忠良 (内線3651)

河川環境課長補佐 堺 善昭 (内線3652)

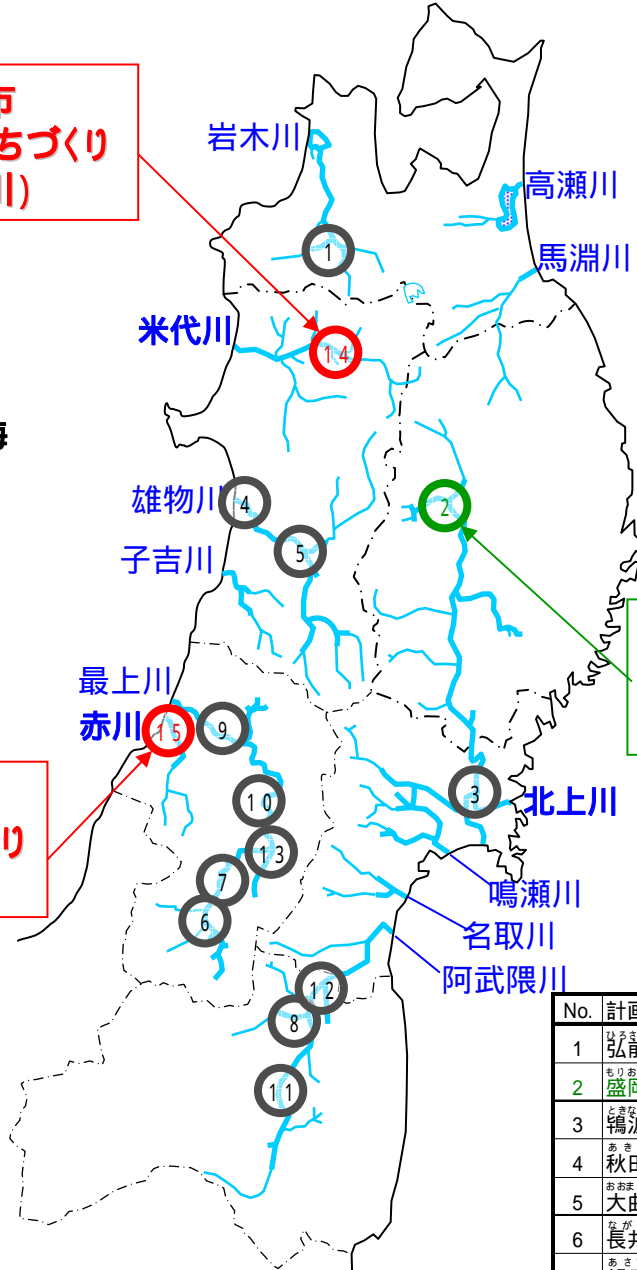
「かわまちづくり」計画登録箇所【東北地方整備局管内】

平成25年度 第1回 登録(平成25年11月12日付け)

新規

秋田県大館市
根下戸地区かわまちづくり
(直轄)(米代川)

日本海



太平洋

変更

岩手県盛岡市
盛岡地区かわまちづくり
(直轄)(北上川・中津川)

新規

山形県三川町
三川町かわまちづくり
(直轄)(赤川)

No.	計画名称	(所管)	登録年度
1	弘前地区かわまちづくり	(補助)	平成21年度
2	盛岡地区かわまちづくり	(直轄)	平成21年度
3	鶴波地区かわまちづくり	(直轄)	平成21年度
4	秋田地区かわまちづくり	(直轄)	平成21年度
5	大曲地区かわまちづくり	(直轄)	平成21年度
6	長井地区かわまちづくり	(直轄)	平成21年度
7	朝日地区かわまちづくり	(直轄)	平成21年度
8	福島荒川地区かわまちづくり	(直轄)	平成21年度
9	清川地区かわまちづくり	(直轄)	平成22年度
10	河北町かわまちづくり	(直轄)	平成22年度
11	本宮地区かわまちづくり	(直轄)	平成22年度
12	塙町かわまちづくり	(補助)	平成22年度
13	須川かわまちづくり	(直轄)	平成23年度
14	根下戸地区かわまちづくり	(直轄)	平成25年度
15	三川町かわまちづくり	(直轄)	平成25年度

凡例

登録済	■
新規	■
変更	■

「根下戸地区かわまちづくり」(直轄・大館市)

市町村名: 秋田県大館市
 対象河川: 米代川水系米代川

1. 概要

大館市では、大館市都市計画マスタープランにおいて米代川を市民にレクリエーションの空間を提供し、うるおいの創出を図る場として位置づけている。根下戸地区は、小学生の環境学習の場としての利用や、地元の釣り大会での利用に加えて、近年では、自治会主体の温泉整備が行われるなど、地域活性化の意識や、河川利用に対するニーズも高い地区である。

本計画では、国土交通省が河川管理用通路の整備や高水敷の整正等を行うとともに、大館市が多目的広場の整備を行うことにより、米代川を中心とした豊かな自然や大館の歴史・文化に触れ合い、地域の活性化を推進する。

2. 整備内容



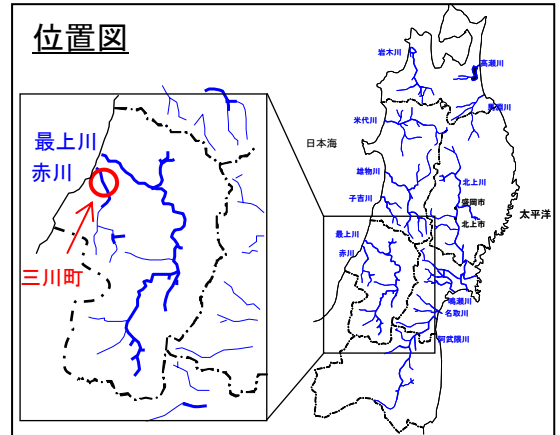
「三川町かわまちづくり」(直轄・三川町)

市町村名: 山形県東田川郡三川町
 対象河川: 赤川水系赤川

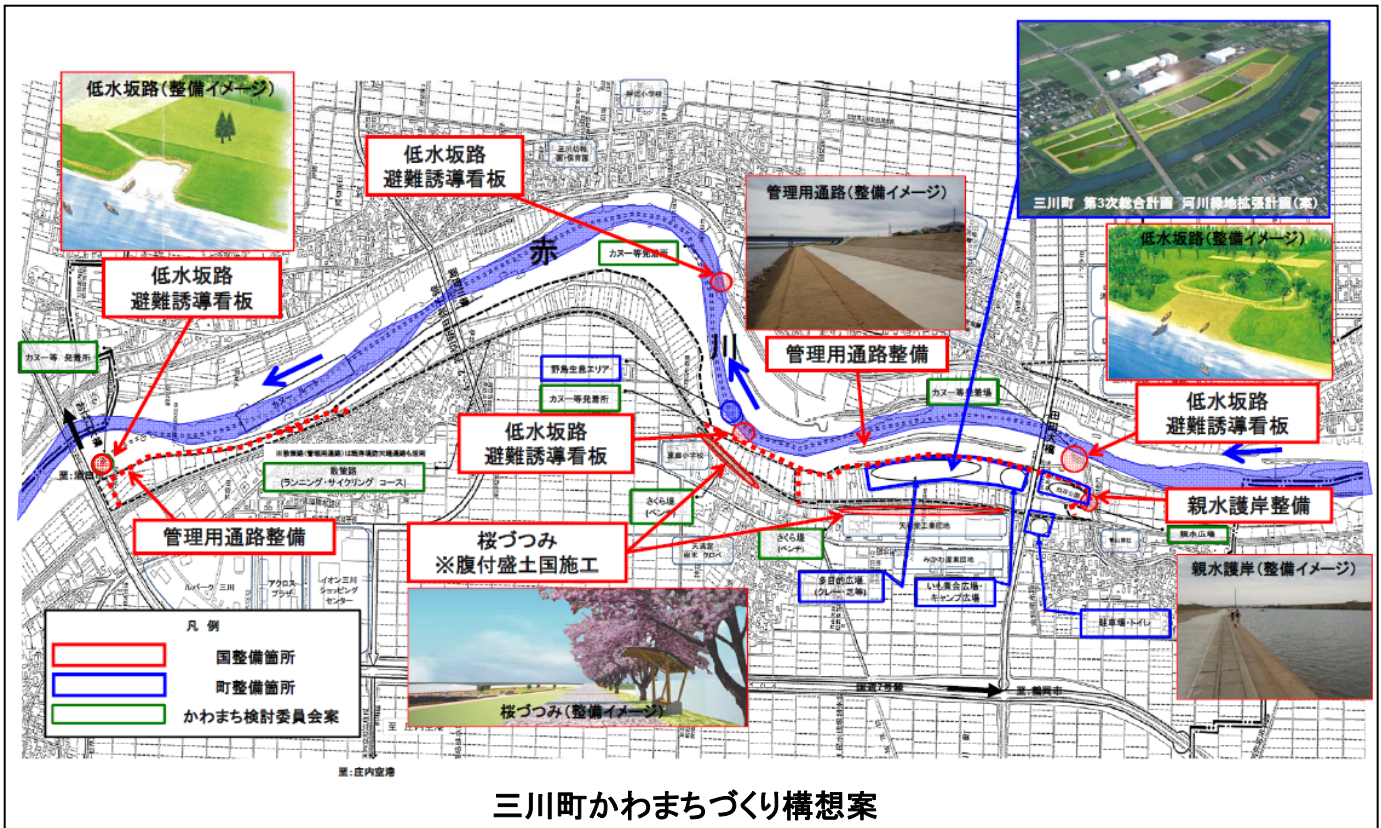
1. 概要

三川町では、これまでに「赤川河川緑地」を整備し、主にグラウンドゴルフなどのスポーツやレクリエーション、文化活動などの活動の場として利用している。

本計画では、国土交通省が河川空間の利活用促進のための河川管理用通路、親水護岸の整備等を行うとともに、三川町が「第3次三川町総合計画」に基づき、現赤川河川緑地の面積を拡張し、防災機能や町民憩いの場・交流活動、健康増進、レクリエーションの場としての多面的な公園の整備を行うことにより、まちと連携・一体となり、地域の活性化を推進する。



2. 整備内容



「盛岡地区かわまちづくり」(直轄・盛岡市)(変更)

市町村名: 岩手県盛岡市

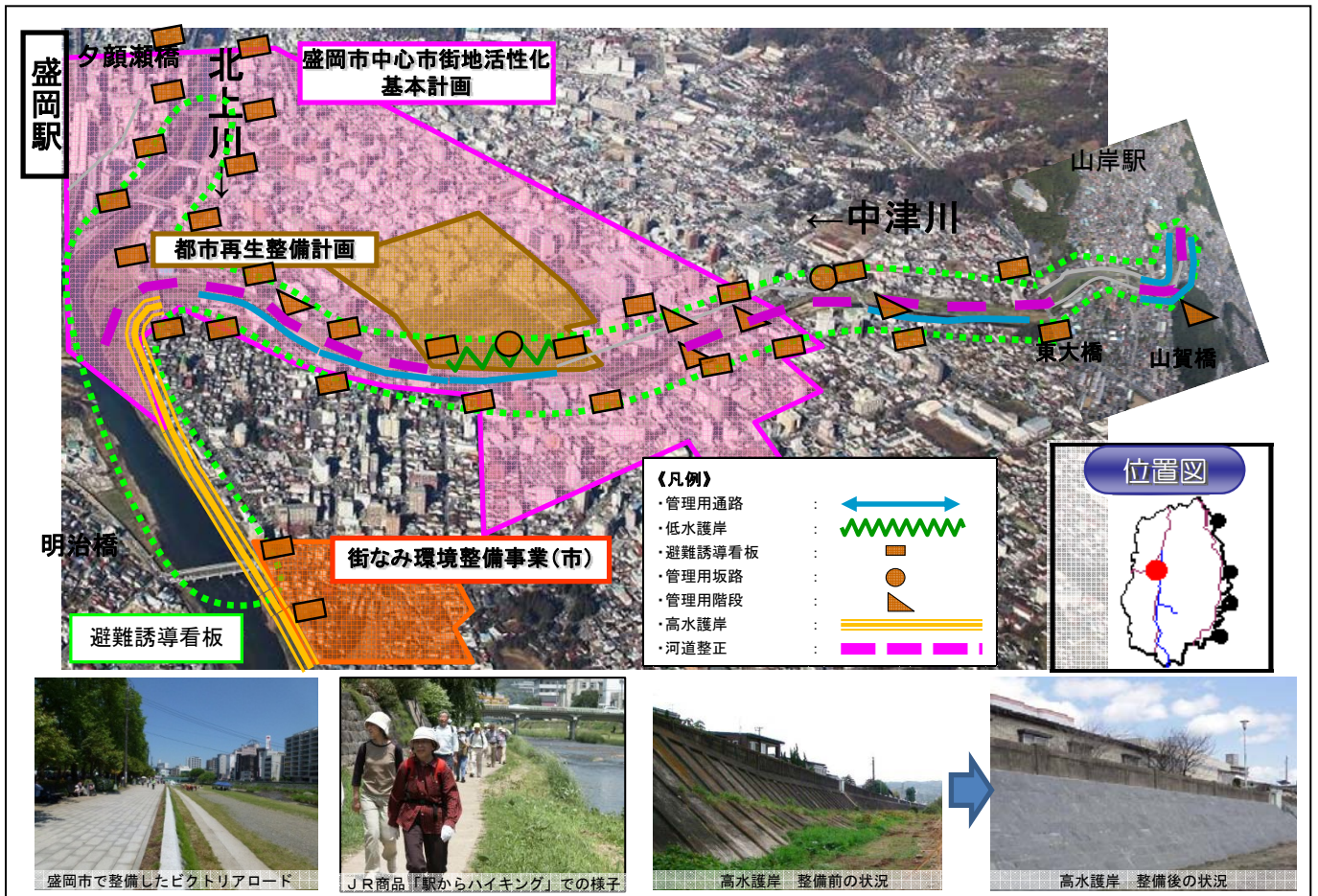
対象河川: 北上川水系北上川・中津川

1. 概要

盛岡市では、「盛岡市総合計画」等において観光の重要な資源と位置付けられている北上川・中津川と城下町としての歴史性を活かしたまちづくりが一体的に進められており、これまでに水辺プラザなど親水空間の整備が行われ、市街地内の水辺拠点として親しまれてきた。

本計画では、国土交通省が河川管理用通路、親水護岸の整備や河道の整正等を行うとともに、盛岡市が中津川に隣接する盛岡城跡公園周辺の整備等を行うことにより、良好な水辺空間を創出し、地域の活性化を推進する。

2. 整備内容



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
事業主体: 盛岡市 まちづくり交付金事業 (拠点施設、周辺整備)		事業実施								
事業主体: 国土交通省 かわまちづくり事業 (拠点空間、散策路等)		設計		整備						

(当初:破線 変更:実線)

かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

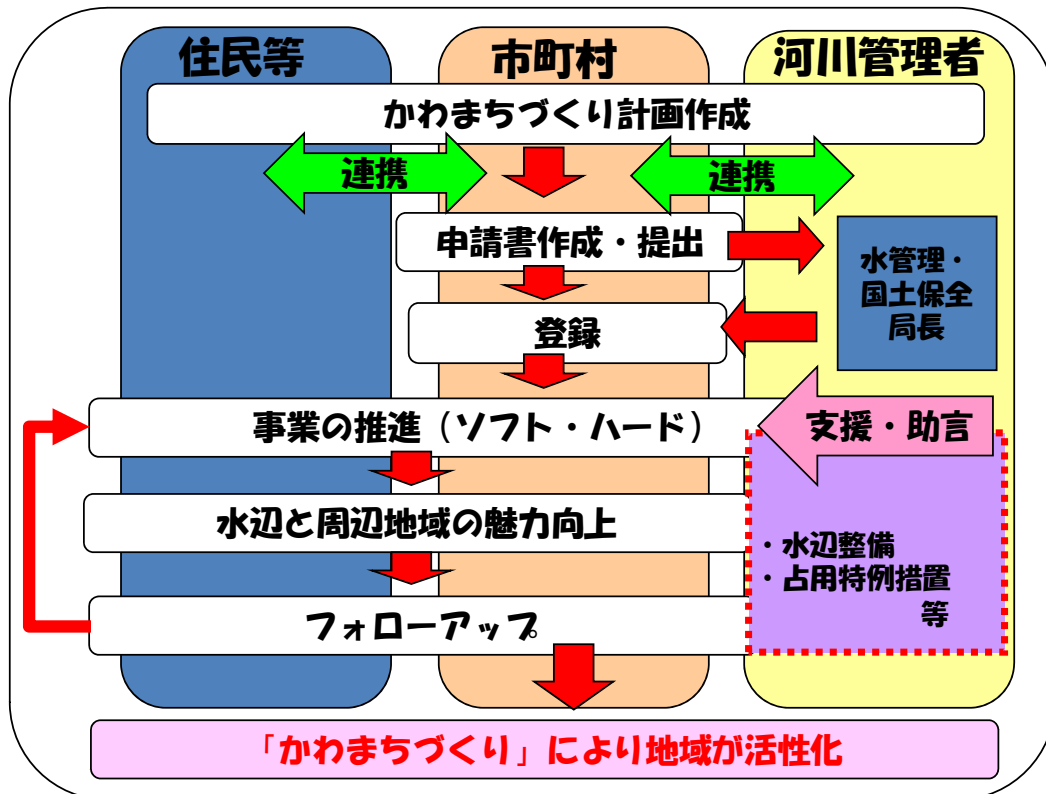
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用道路をフットパスとして活用（最上川）



図：かわまちづくりの流れ